

# Stand UP!

2016年6月17日

発行責任者 佐久間 晃史

NO. 51

編集責任者 情 宣 部

**2016年度夏季手当妥結!**

# 基準内賃金×1.5カ月

JR貨物労組は6月17日、夏季手当の最終交渉を行い、「基準内賃金×1.5カ月」で妥結しました。

## 手当抑制姿勢の経営陣を青年部員は許さない!

今夏季手当において青年部は職場からの闘いに拘ってきました。現場長要請行動や抗議FA X、統一要請用紙などを通じて職場の現状や、青年部員の悲痛な声を経営陣に対して再三再四訴えてきました。その結果、第4回交渉時の「昨年夏季手当を若干上回る考え」を突き動かし、基準内賃金×1.5カ月まで引き上げることが出来ました。これは紛れもなく職場からの闘いの成果です。

しかし、私たちが求めていたものは『基準内賃金×2.6カ月+5万円』であり、頑なに手当抑制姿勢に終始した経営陣を青年部は絶対に許すことは出来ません。会社は25年ぶりの好決算で支払い能力は十分にあったのです。そして、59億円の経常黒字は青年部員の努力と苦勞によって生み出した黒字なのです。青年部として何度も職場の疲弊しきっている現状を訴えてきましたが、今夏季手当では結果が出ても黒字を職場に還元しない経営姿勢が明らかとなりました。「手当は業績給」と言ったのは嘘だったのか? 私たちは今回の結果と経営陣の姿勢を重く受け止め、今まで以上に経営姿勢を質す闘いに全力で傾注しなくてはなりません。青年部員の声聞こうとしない経営陣を許さず、自分たちの未来は自分たちで切り拓くために声をあげ行動していきましょう!!

## 今まで以上に経営陣に怒りを持ち行動していこう!! 職場からの闘い大変お疲れ様でした。